

保健だより

5月の感染症の発生状況まとめ（5月25日現在）
目立った感染症の報告はありませんでした。

歯科検診・内科健診について

今月は、健診が2種類あります。保育園でおこないますので当日のご参加のご協力をお願いします。

歯科検診→6月7日（火）午前中【9：30～10：30予定】

内科健診→6月16日（木）午後【14：45～15：15予定】

※保育園での健診ができなかった場合、ご家庭で受診をお願いすることになります。あらかじめご了承ください。よろしくお願いします。

皮膚の病気について

これから暑くなっていくと水で遊ぶ機会が増え、7月からはプールが始まります。その前に保護者のみなさまへお願いがあります！

皮膚の病気は、皮膚の接触や水を介してうつることがあるため、完治するまで保育園ではプールに入れないこともありますので、ご注意ください！

特に、下記でご紹介する「水いぼ」や「とびひ」になっている場合は、お子さん自身の全身に広がってしまったり、お友だちへ移してしまったりすることがあります。そのため、水遊び・プールへの参加ができなくなってしまいます。お子さんの全身状態身体を入浴の際など観察してみてください。そして、異変を見つけた場合には、早めに受診し、治療を開始してください。

☆水いぼ（でんせんせいなんぞくしゅ伝染性軟属腫）

- かゆみを伴わない光沢のあるいぼが突然出てくる。
- 脇の下、わき腹、おなか、肘、膝に多い。
- 広がってきた場合、かゆみを訴えるお子さんもいらっしゃいます。



※ほとんどは数ヶ月から数年で治ります。しかし、いぼがつぶれて中の液が他の人の皮膚につくことでお子さん自身や友だちへと感染が広がっていきます。そのため、保育園では皮膚科の受診をお願いしています。

☆とびひ（でんせんせいのおかしん伝染性膿痂疹）

- 虫さされや切り傷、湿疹の後、膿をもったようなかゆみのある水泡ができる。
- 水泡が破れると、全身に赤いただれが広がる。

※水泡がやぶけて中の液が他の部分につくと、次々ととびひが広がります。

水泡を見つけたら、すぐにガーゼで覆い受診してください。

※かくと傷をつくったり、水泡を破ってしまったりすることがありますので、こまめに爪は切ってください。

※爪の中の細菌によって感染がひどくなりますので、手洗いを十分に行ってください。

☆熱中症

原因 高温多湿の環境の中で、体温調節がうまくできず身体にさまざまな不調を起こす。

症状 呼吸が荒くなり、顔が赤くなる（日射病）
痛みを伴う筋肉のけいれん（熱けいれん）
頭痛やめまい、吐き気（熱疲労）
ぐったりとして意識がなくなる（熱射病）
皮膚や唇がカサカサになる
暑いのに汗が出ない



予防 のどが渇く前に水分補給を！
湿度の高い6月から注意！
外では必ず帽子をかぶる！

※熱中症予防のためにも…

天気予報で、**夏日（25度以上）の気温**や**湿度が高い**とが予想される日は、水筒の中身をイオンウォーターやベビーポカリなど、ミネラルが取れるものをご準備していただくと、熱中症の予防にも効果があるかと思えます。

糖分を気にされるようでしたら、**経口補水液**なども市販されていますので、お使いいただくとより安心かと思われれます。

飲み切った場合は、保育園の麦茶を補充させていただきますので、ご協力をお願いいたします。